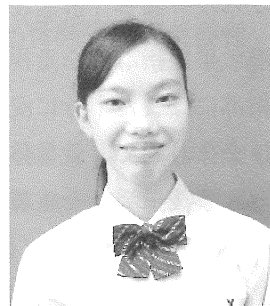


☆輝く在校生☆

保育と農業のつながりと 保育実習を通しての学び



神奈川県立吉田島高等学校 生活科学科3年 佐藤 真優

吉田島高校の生活科学科ヒューマンサービスコースは保育や福祉について学べるコースです。私は、保育について学びたいと思い、入学を決めました。学校設定科目であるピアノ演奏や壁面構成を学ぶ「保育技術」や保育所などで実習を行う「ヒューマンサービス実習」という科目があり、将来につながる学習を行っています。

本校には農業の学科もあるため、農業についても学べます。保育所や幼稚園では、食育として、野菜や作物を育てます。保育と農業は深く関わっており、本校では2つを結び付けて学べます。1年次では、農業の基礎科目である「農業と環境」を学びました。とうもろこしを育て、小学校低学年の子供たちと一緒に収穫し、育ち方やおいしい食べ方を教えました。専門的な内容を分かりやすい言葉で伝えるのは難しかったです。子供達の笑顔を見ることができ嬉しかったです。2、3年次の保育の授業では、さつまいもやオクラを育てました。栽培以外にも、作物を使って子供のおやつを作ったり、作物の特徴や栄養を子供に伝える方法を考えました。

これまでに多くの保育実習を行いました。1年次では製作した人形劇を保育所で披露したり、2年次では保育所に現場実習に行きました。3年次では授業の中で、5日間、保育所に実習に行きました。実際に子供と触れ合うことで、子供の発達や遊びを実践的に学びました。絵本の読み聞かせを行った際、途中で子供が話しかけたり、緊張して上手く読めませんでした。そこで、保育士さんを見てみると強弱を付けて子供を集中させていました。私も、注目してほしい時は強めに読み、落ち着かせたい時は、弱めに読むようにしました。そうすることで子供達も、聞きやすくなり、自分もリズムができ、読みやすくなりました。

私は、高校卒業後、子供について、広い視野で深く学ぶため、子



保育所での人形劇発表

供に関する四年制大学への進学を希望しています。高校では実習の大切さを実感したので、ボランティアなどで子供と触れ合う時間を多くしたいです。